

資料 3

令和 2 年 2 月 14 日（金）

第 4 回佐倉市子育て支援推進委員会

志津南部区域の民営化候補園についての分析

民営化で想定される状況について

	志津保育園	南志津保育園
民営化後の 利便性	現在の志津保育園と同様の立地（駅から近くて大規模）が無い場合、民営化後の新保育園は、今より駅から遠くなる可能性が高い。	現在の南志津保育園は、住宅に囲まれており、駅からも遠く利便が良くないが、規模が小さいため、民営化後の新保育園は、利便が良い場所になる可能性が高い。
利用希望	志津地区の中では北志津保育園の次に利用希望が多いため、子育て家庭の意向と逆行する。	志津保育園より利用希望が少ないため、民営化を実施した時の影響が小さい。
施設の 維持・修繕	志津保育園を民営化する場合、南志津保育園の耐用年数が限界に来ており、維持が難しく、早急な改築が必要となる。	南志津保育園を民営化する場合、志津保育園の耐用年数に余裕があるため、15 年程度は継続的な使用が可能。
建物の 再利用	一般的な耐用年数まで 15 年程度余裕があるため、保育園として使用しなくなった場合に他の目的へ転用できる可能性がある。	一般的な耐用年数を 10 年経過しているため、再利用は難しい。
民営化実施時 の対象子ども	南志津保育園と比べて入園児が多いため、転園となる子どもの数が多い。かつ、近隣施設で受け入れが可能な施設が少ない。	志津保育園と比べて入園児が少ないため、転園となる子どもの数が少ない。また、近隣施設での受け入れが可能な施設が多い。
近隣施設	近隣で同等規模のソラストさくら保育園は定員を満たしており、民営化実施時に、転園が難しい見込み。	志津わかば幼稚園 （今後、認定こども園に移行し保育定員が創設予定） ウェルネス保育園佐倉 （H29.4.1 開園で、保育士を増やせば定員拡大が可能な施設）

	志津保育園	南志津保育園
応募事業者	定員が大きいため、公募しても民間事業者の提案が無い又は 1 事業者のみとなり、より良い保育事業者の選定が困難となる可能性がある。	定員が志津保育園と比べて少ないことから、志津保育園が民営化する場合と比べて、複数事業者から応募がある可能性がある。これにより、より良い保育事業者の選択が見込める。
他の公立園での受入	民営化を実施した場合、職員が他の公立保育園に異動した時に、南志津保育園と比べて職員数が多いため受入数を拡大できる可能性がある。 (正規 19 人、非常勤 20 人)	民営化を実施した場合、志津保育園と比べて職員数が少ないため受入の拡大数が少なくなる。 (正規 15 人、非常勤 13 人)
人口推移	西志津は、就学前児童の推移がほぼ横ばい（微減）	中志津は、西志津と比べて大きく減少している。